

## 仕 様 書

### 1. 業務の名称

平成 29 年度密集市街地再生に向けた事業者間の連携方策等検討業務

### 2. 履行期間

契約締結の翌日から平成 30 年 3 月 16 日まで

### 3. 業務の目的

東京都の木密地域不燃化 10 年プロジェクトの目標年度である平成 32 年度まで残り 4 年となり、さらなる不燃化の促進が急務となっている。

密集市街地における多様な課題に取り組むためには、地元、地方公共団体、及び民間事業者等関係する主体の協働や情報共有が必要である。これを受けて、UR では、密集市街地整備に携わる地方公共団体、NPO、民間コンサルタント、UR 等が相互に情報交換を行うために、密集市街地整備情報ネットワーク「街みちネット」\*を開設している。

今後の密集市街地整備の取組みの更なる発展を図るため、「街みちネット」を活用して、民間事業者等との連携方策を検討するとともに、密集市街地整備に係る取組みの社会的認知度の向上を図ることを目的とする。

※ 街みちネットについては、<http://www.ur-net.go.jp/machimichi-net/> を参照すること。

### 4. 業務の内容

#### (1) 密集市街地整備の推進における民間組織活用方策の検討

密集市街地における多様な課題に取り組むために、街みちネットの活動における会員間の交流を更に発展させ、新規事業開拓のための情報交換・連携強化や社会的認知度向上の方策を新たに企画するとともに、街みちネット及びコア会議の今後の展開と民間組織を活用した事業者間の連携方策等について検討する。

#### (2) 密集市街地再生に携わる事業者間連携の支援

街みちネットの見学・交流会やコア会議開催における運営支援、議事録作成、瓦版の作成・印刷、情報発信支援、アンケート集計・開催後の総括等

イ 見学・交流会については、年 2 回実施予定である。

ロ コア会議については、年 5 回程度実施予定である。

ハ 瓦版の作成については、街みちネットのホームページを参照し、印刷は 100 部×2 回分とすること。

## 5. 特記事項

- (1) 本業務に必要なとなる業務量(人・日)については、次表を参考とする。なお、業務量はすべての職階を合計したものである。

業務内容	業務量(人・日)	備考
(1) 密集市街地の整備促進における民間組織活用方策の検討	20	
(2) 密集市街地再生に携わる事業者間連携の支援	30	

- (2) 提出する成果品
- ・ 報告書 (A4版) 製本3部、原本1冊 (原稿ファイル)
  - ・ 報告書の電子データ媒体2部 (CD-ROM)
- なお、成果品はグリーン購入法に基づき作成すること。
- (3) 業務の履行上必要な情報収集方法等については、事前に機構指示者と協議し、また、業務の履行上知り得た秘密を第三者に漏らし、又は利用してはならない。
- (4) 本仕様書に記載のない事項又は疑義が生じたときは、その都度機構指示者と協議すること。
- (5) 本業務は業務成績評定対象業務である。受注者には、業務完了後業務成績評定点を通知する。付与した業務成績評定点は、将来業務発注時に価格以外の評価項目として使用することがある。
- (6) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について
- 1) 業務の履行に際して、暴力団員等による不当要求又は業務妨害 (以下「不当介入」という。) を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
  - 2) 1) により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した文書により発注者に報告すること。
  - 3) 暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

以 上